

## 会長時間 4月



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために



### 「ロータリーの原点に戻る」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南  
住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 豊田裕康

### 母子の健康月間

## 4月6日

- 1 みなさん、こんにちは。新年度となりましたが、未だ新型コロナウイルスの感染は終息することなく、むしろ再拡大の兆候が見えております。

日南市でも連日感染者の発表が続いており、大きな事業所でも大規模なクラスターが発生しているようです。ある老人福祉施設では入所者全員と大多数の職員が感染して死者も出ているということです。

5月の連休や夏休みに向けて、観光拡大の方向に行政が舵をきっていますが、楽しい休日を過ごすためにも、日頃の感染対策が重要となると思いますので、会員の皆様もより一層の感染対策をお願い申し上げます。

- 2 災害救援基金

- (1) YouTubeでも配信致しましたが、先週、竹井SAAと都城のガバナー事務所を訪問し、井福ガバナーに寄付金をお渡ししてまいりました。

寄付金は、ロータリー財団がウクライナ地域での直接的人道支援の窓口として設置した災害救援基金に地区より送金され、ロータリー地区が実施している直接的人道支援を支える資金となります。

ウクライナ大使館への日本からの寄付が約20万人から合計約50億円に達したとの報道がありましたが、国家としてのウクライナへの寄付金のため、その用途はウクライナに任せられることとなります。

- (2) 今回当クラブが寄付した災害救援基金への寄付金は国家としてのウクライナへの寄付ではなく、あくまで、水・食料・医薬品・衣服・シェルターといった救援物資の提供を含めた直接的人道支援活動を行うロータリー地区を支援するための補助金に充てられます。具体的には、ウクライナ国内のロータリー地区及びウクライナと国境を接するロータリー地区は上限5万ドル、その他のロータリー地区は上限2万5000ドルの補助金申請ができます。

現時点で直接的人道支援を行っているロータリー地区の所属国は、ウクライナ、ブルガリア、チェコ、スロバキア、ハンガリー、リトアニア、ポーランド、ルーマニア、モルドバの9カ国を中心として、セルビア等14カ国も支援活動を行っております。

- (3) 現在のウクライナ国境内でのロータリーの歴史は古く、中継でよくテレビに映っている西部のリヴィウを含めた3クラブが1930年代に加盟承認されております。しかし、第二次世界大戦の勃発で戦場となった地域のクラブ及び共産圏のクラブは解散してしまいました。

ソ連崩壊後の1991年、ようやく首都キーウにロータリークラブが設立し、現在、隣国ベラルーシとともに第2232地区を構成し、2014年のロシアによるクリミア半島併合前には41のRCが存在しました。この時点でクリミア半島と東部ドンバス地区には7つのRCが存在していましたが、ロシアによる介入の後、東部ドンバス地区のRCは全て解散し、現在はクリミア半島に2つのRCが存在するのみです。

しかし、ウクライナ国内のロータリアンはロシアによる介入の後にも精力的に活動し、現在では62クラブ約1100名のロータリアンが存在し、ロシアによる侵略の中で人道支援活動を行っています。

今回当クラブが寄付した災害救援基金からの補助金は、ウクライナ国内で直接的人道支援活動を行うロータリアンの活動を支援するだけでなく、ウクライナ国外に避難した避難民の方々への支援活動にも充てられることとなります。

- (4) 今後、日本でも多くのウクライナ避難民の皆さんが受け入れられる可能性があります（宮崎県では都

城市がいち早く避難民の受け入れを表明しました)、その場合には日本のロータリー地区でも補助金申請をして直接的な人道支援活動を行う可能性があると思います。

ウクライナの惨状を報道で見て心を痛めている会員の皆様も多いと思いますが、災害救援基金への寄付については今月30日まで受け付けがされる予定となっております。国家としてのウクライナへの寄付と異なり直接的な人道支援活動に限るという趣旨にご賛同頂ける方は、個別の寄付も可能ですので、ご検討をお願い申し上げます。

## 4月13日

### 1 みなさん、こんにちは。

今月4月は、母子の健康のロータリー特別月間となっております、今月24日から30日の一週間は世界予防接種週間となっております。新型コロナウイルスのワクチン接種だけでなく、あと一息となっているポリオ根絶と予防接種の大切さについての認識向上が求められています。

既に3回目のコロナワクチンの接種を済まされた方も多いかと思いますが、連日、テレビ等の報道で、若者達のワクチン接種率の低さが問題となっております。IMでこの点をテーマにして峰松会員にご講演頂く予定が延期となってしまったのが残念ですが、自分だけでなく周囲の大切な人達への感染予防にもなる点につき、若者達にもよく認識して頂きたいと思います。

### 2 さて、母子の健康についてですが、2015年のデータになりますが、日本国内で妊産婦10万人あたりの死亡者数は5人です。ちなみに、アメリカは14人、中国は27人となっております、日本は先進国の中でも妊産婦が出産時に死亡する率が低い国となっております。

一方、アフリカ諸国の妊産婦の死亡率は軒並み高く、シエラレオネでは1,360人を始め、死亡率上位50カ国のうち43カ国をアフリカ諸国が占めています。

妊産婦の出産時の死亡の原因は衛生状況に左右される事が多く、主な死因の一つとして、手指の十分な消毒が行われない中での出産により妊産婦が細菌感染して産褥熱で命を落とされているということです。

産褥熱は公衆衛生の重要性を世の中に広めるきっかけとなった病気で、次に感染制御の父と言われるイグナツ・ゼンメルワイスについてお話しをしたいと思います。

### 3 ゼンメルワイスは、19世紀半ばに消毒の徹底によって多くの妊産婦の命を助けた医師です。

彼が消毒の重要性に気づいたのは、オーストリアのウィーン総合病院の第一産科クリニックの医科長として勤務していた時です。病院には第一産科と第二産科があり、同じ病院内で同じ技術を用いたにも関わらず、第一産科の妊産婦死亡率は13.10%で、第二産科の死亡率は2.03%と大きな差がありました。両科で違うのは医療従事者で、第一産科は主に医学生の教育が、第二産科では助産婦の指導が行われていました。

当時病原菌の存在は知られておらず、病気は体液のバランスがくずれることが原因と信じられていた時代で、医師や医学生が十分な消毒をせず、素手で出産に立ち会うこともあったそうです。一方、助産婦は経験的に清潔な状態での出産が死亡率を下げる事が分かっていたため、出産に立ち会う際の手指や器具の洗浄に気を遣っていたということです。

ゼンメルワイスはこのことを医学界に発表したのですが、自分達の職業が極めて神聖なものであり、手が汚れていることはありえないと主張する保守的な学会から猛反発を受けました。

彼は自分の信念に基づき妊産婦に接触する全ての人の手指及び器具を徹底的に消毒し、彼の係わった産婦人科病棟から産褥熱をほぼ撲滅するに至りましたが、彼はプライドの高い医学界の保守勢力の反発を受けて失職するに至りました。

ゼンメルワイスの主張は19世紀半ばの医学界において徹底的に否定されて葬り去られ、何千人もの妊産婦が命を落とすこととなり、権威主義的な医学界により科学の発展が遅れた例として今でも引用されるということです。

### 4 日本においては出産時に死亡する確率は低いですが、現在では産婦人科の医師不足が大きな問題となり、居住地域に産婦人科医がないという地域も増えてきています。妊産婦が安全に出産できる環境を整えることが若い世代を呼び込むことにもなりますので、人口が激減する中でも、日南市内において安全に出産ができる体制はぜひとも維持して頂きたいと思います。

## 4月20日

みなさん、こんにちは。新年度に入って多くの品目で値上げがなされているとの報道がされています。1人暮らしの私は実感がないのですが、子育てをされている主婦の方にお聞きすると、家族の食材をまとめ買いすると10%~20%の値上げがなされた品物が積み重なるので相当な負担となるとのお話です。ガソリン価格も高止まりしている状態ですので、事業をされている方は相当な負担を感じられているのではないかと思います。

新型コロナにウクライナ情勢も加わり近い将来の予測も立ちにくい状況ですが、一刻も早く落ち着いた世の中になって欲しいものです。

- 1 本日4月20日は、アメリカではマリファナデーと呼ばれているそうです。由来は、アメリカでfour-twentyが大麻を表すスラングとなっており、アメリカの警察用語でも大麻事犯をfour-twentyというコードで呼んでいることから、マリファナ愛好家が毎年4月20日に集まって大麻を摂取するということです。

日本では大麻の「所持」や「栽培」が大麻取締法の取締対象で、「使用」は取締対象ではありませんが、厳格な大麻規制がなされています。

ところが、昨年より大麻取締法の大改正の準備が進んでおり、G7諸国で日本のみ承認していない医療用大麻（カンナビノイド医薬品）について日本国内での使用・製造・販売等を認め、「使用」そのものを規制する使用罪を創設する方向で議論がなされています。

- 2 令和2年12月に国連麻薬委員会が、大麻を「最も危険な薬物」から除外して以来、日本においても大麻を合法化すべきとする主張が広がってきました。しかし、「最も危険な薬物」ではないにしても、大麻特有の精神活性作用（多幸感、幻覚、妄想）を引き起こすことは間違いなく、これらの作用を引き起こす物質の規制は必要です。ただ、これらの成分がほとんど含まれない「成熟した茎」は麻織物や麻縄に、「種子」は七味唐辛子に従前より用いられています。

- 3 大麻の「使用」が規制対象とされていない理由は、昭和23年の法制定時、許可を受けて大麻草を栽培している農家が大麻草を刈り取る作業を行う際、大気中に大麻の成分が飛散し、それを吸引して「麻酔い」という症状になることがあるためとされていました。

しかし、昨年、厚生労働省のHPに「麻酔い」のことが記載されていたのが、麻農家から「麻酔い」など存在しないとの抗議により削除されるというニュースがあったのを覚えている方もいらっしゃると思いますが、厚生労働省が実際に麻農家の方の尿検査をしたところ大麻の成分は一切検出されなかったということです。また大麻「所持」で検挙された631人に聞き取りを行った結果、大麻に使用罪がないことが使用する理由になった又はハードルが下がったとの回答が21%あり、これらのことから大麻の「使用」罪の導入に向けた議論が始まりました。

- 4 私も大麻所持・栽培で逮捕起訴された方の刑事弁護を複数回やりましたが、自宅の庭や屋根の上で大麻を栽培して逮捕された方が多く、日南市内の公園で大麻を栽培していた方もいました。

大麻事犯は「栽培」であれば言い逃れは難しいのですが、「所持」だと立証は難しく、よくあるのが車の中で大麻が見つかって「所持」で逮捕されたけども「自分のものでない」「しらないうちにあった」「車を他人に貸していた」等の言い逃れをされて起訴に至らないケースも多いです。

しかし、「使用剤」が導入されれば尿検査の結果で容易に起訴することが可能となります。

現在なされている大麻取締法の改正論議は、医療用も含めた厳格な規制を改めて大麻成分を含んだ医薬品の開発ができるようにする一方、薬物濫用の防止のために「使用」自体を処罰対象とする方向でなされています。意見の分かれるところですが、大麻が覚醒剤等の他の薬物使用への入り口となるケースもありますので、「使用」を処罰対象とする必要はあると考えます。

## 4月27日

- 1 みなさん、こんにちは。

日南では毎日10名前後の感染者発表が続き、自宅療養者が増えて事業継続に支障が生じている事業所も多いのではないかと思います（先週は目井津のカツオ船2隻で十数名の陽性者が出て操業を止めて港に帰ってきたということです。原油高と需要の減少のダブルパンチで、どこの船も経営が厳しいようです）。

ただ、報道では宮崎県内の新型コロナ第7波がピークを越えつつある可能性があると言われており、今週月曜日より宮崎県の新型コロナ対応方針も行動制限の緩和に向けて動き出しております。

24日に開催されました次年度に向けた地区研修協議会（詳細については入中エレクトより後ほどお話しがあると思います）において、野中パストガバナーから宮崎県の行動制限緩和のお話があり、5月から通常どおりの例会が全てのクラブで開催できるようになり、5月21日22日の地区大会に皆さんが集まれることを期待したいと述べられておりました。

今日は、宮崎県の新型コロナ対応方針が変わりましたので、その点につき確認をしたいと思います。

## 2（宮崎県の新たな対応方針）

- (1) 日々の感染者数の発表に一喜一憂するのではなく、医療のひっ迫状況を重視して行動要請の内容や対象範囲をその都度決定する。

これまで、毎日発表される感染者の有無や人数がマスコミでも大きく取り上げられてきました。しかし、現在主流となっていますオミクロン株の感染においては、感染者の97%が無症状か軽症ということで、現在行われている行動制限の妥当性について疑問を持っておられた方も多いと思います（実際、油津の夜の街では、濃厚接触者で自宅療養しているはずの人が出歩いているという話をよく聞きます）。

そこで、宮崎県の警報区分の設定にあたっては、日々の感染者数の増減は要件とせず、病床使用率と重症病床使用率のみを判断基準として発令されることとなりました。

具体的には、病床使用率と重症病床使用率のいずれかが50%超又はその恐れのある場合が医療非常事態宣言（国レベル3以上）、同25%の恐れのある場合が医療緊急警報（国レベル2）、いずれかの使用率が15%を超える場合が医療警報（国レベル1）とされました。

感染状況の区分については、赤圏域が直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数200人以上が赤、100人以上200人未満がオレンジ、100人未満が黄、0が緑と区分されます。

その上で、4月25日から5月15日を目途に医療緊急警報が発令されました。医療緊急警報の行動要請は従前とはほぼ同じですが、①混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛、②大人数、長時間は控えたみやざきモデルでの会食、③1卓4人以下2時間以内（但し、高齢者や基礎疾患を有する人、医療従事者や高齢者と接する仕事の従事者は、家族などいつも一緒にいる身近な人とのみ会食）、④高齢者施設等では対面での面会制限、という内容となります。

- (2) ジモ・ミヤ・タビキャンペーン

利用されたことのある方もいらっしゃると思いますが、期間が延長となり、6月1日チェックアウト分まで対象となることになりました。ただ、延長期間分については4月22日以前の予約はキャンペーン対象外となるので注意が必要です。

また、現在、九州・沖縄で長崎県在住者のみがキャンペーンを利用できる状態ですが、福岡県在住者は直ちに追加され、連休明けの5月9日からは佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県在住者もキャンペーン対象となり県外客を大幅に受け入れる方向に舵を切ります。ただし、感染状況を考え沖縄県についてはキャンペーン対象とする時期は未定ということです。

ただし、5月9日以降はワクチン3回接種歴又は陰性証明の提出が必要となります（これまで県内在住者は2回接種歴）。

- (3) 最近の報道で、感染しても重症化のリスクの低い学校の子供達は厳格な行動制限を守らされているのに、大人が大勢で遊び歩いて酒を酌み交わして大騒ぎしている現在の行動制限は疑問であるというのがありました。我々大人は、あと2年我慢すれば新型コロナもただの風邪扱いになるかもしれないと言えますが、子供達にとって学校生活の2年は成長段階において重要な取り返しのつかない期間であり、運動会や修学旅行などの行事がまともに行えていません。そう考えると、現在の学校における厳格な行動制限に妥当性はないと言わざるを得ません。県の発表を受けて、さっそく保護者の皆さんには学校から行動制限緩和にむけた連絡がきているということです（濃厚接触者の定義が変わり、濃厚接触者の認定が保健所ではなく各学校になる）。クラブ活動については、学校の部活では市外チームを呼んでの練習試合は行えないのに、スポーツ少年団は行えるなど、根拠のよく分からない行動制限が行われており、一刻も早く学校生活がコロナ前の状態に戻ることを祈りたいと思います。

県が新たに発表した方針においては、具体的な行動制限の内容については一律に決めるのではなくその都度決定するとされているので、子供達への影響が可能な限り少ない形での行動制限を今後はお願いしたいと思います。

当クラブの例会再開についても、連休明けの感染状況を踏まえて検討したいと思います。

また、連休明けに日南市内の感染状況が落ち着いて例会が再開できるようにするためにも、県外の方が

数多くいらっしゃる予定の日南市内において、会員の皆様には感染対策をいつも以上にお願い致します。

## 4月の結婚・誕生者卓話



### 石灘寛樹君（結婚・2011年）

4月5日は私ども夫婦の結婚記念日です。私どもが結婚したのは平成23年（2011年）でしたので、満11年、ネットによれば鋼鉄婚式だそうです。なんだかずいぶん無粋な感じですが、当日、妻からは「よくもっているよね。」と言われました。このセリフ、毎年言われているような気がします。

さて、新型コロナウイルス感染症が流行しだしてから2年以上が経ち、私たちの日常は全く様変わりしてしまいました。毎週のように飲み会に出かけ、日付が変わる前に帰らないと怖いと思いつながらお土産のアイスクリームを買った日々がまるでウソのようです。最近、子供と一緒にの時間に床に入り、私が最初に眠ってしまう日々を過ごしています。

今年の初め、ちょうど第6波が猛威を振るい始めたころ、東京に3泊4日の出張がありました。懇親会もなかったのも、夜7時以降することもなく暇で暇でしょうがありませんでした。そこで、初めてオンラインのゲームをして、見事にハマってしまいました。ゲームといってもただ歩くだけの何の技術も要らないものです。ゲーム画面と地図が連動しており、大きな花芽のあるエリアで一定数のポイントを上げると花が咲く、ただそれだけのものです。この単純なゲームのおかげで、本日に至るまで毎日ほぼ7000歩強は歩いています。体重は減っている感じはしないのですが、妻がよればころなしか首元が少しすっきりしたような・・・ということでした。

元来飽きっぽい性格ですのでいつまで続くか分かりませんが、気負いせずにのんびりとやっついこうと思う昨今です。



### 野崎正彦君（誕生・1946年）

こんにちは、誕生日のお祝い有り難うございます。今日は、彼岸の由来の話をします。お彼岸は、春と秋、年二回有ります、春は、春分の日を中日とした前後三日間の計一週間をいいます。

秋も、秋分の日を中日とした一週間です、「彼岸」と書きますが、これは、私たちの住んでいる世界とは別の、あらゆる苦しみない世界、つまり極楽浄土を指しています。極楽浄土は遙か西の彼方にあると示されています。そして、夕陽が真西に沈む春分の日、秋分の日こそが極楽浄土への願いをたしかなものにする日として最も適している、と説かれ行事がお彼岸なのです。私たちにとって、お彼岸とは、自身の極楽浄土への往生を願うとともに、亡き人への真心を捧げることの出来る大切な機会です。今、宗教離れが進んでいます、葬儀が終わり、挨拶の言葉で、お浄土での言葉が使われていたが、今は天国での言葉が使われています、天国の方が綺麗で親しみ易いのかもかもしれません。皆様もご先祖を大切にしてください。ぼた餅とおはぎの区別はわかりますか、春には、牡丹の花が咲きます、春に食べるのはぼた餅です、秋に咲くのは萩の花です、秋に食べるのは、おはぎです、今は年中おはぎです、美味しく食ればどちらでもいいです。



### 田島逸男君（誕生・1952年）

古希の記念にと、昨年未BSNHKの火野正平さんが、ロードバイクで全国を行脚する番組に投稿した文章を掲載します。残念ながら採用されず、日の目を見なかったエピソードです。

#### 「人生を変えた忘れられない欄干橋」

正平さん！「こころ旅」毎日朝晩楽しみに観ています。特に朝はこの番組を見ることで一日の仕事の励みになります。

私の心に残る風景は「欄干橋」です。60年前父は、私が10歳の時40歳の若さで急逝しました。当時父は鹿児島県指宿市で歯科医院を開業していたのですが、途方に暮れた我が家は、母の実家のある日南市飲肥に引っ越

すことになりました。当時は近隣に同世代の子供達が多く、夏を待ちわびて酒谷川で泳ぐのが唯一の楽しみで至福の時間でした。私は未だ小学5年生で数歳上の中学生の水泳部の先輩が、その「本町橋」の欄干の上から飛び込むことを皆に無理強いしていました。私の順番になり、飛び込むことを拒否できない状況で足が震える中、足飛びで目をつぶって鼻をつまみ飛び込んだ思い出があります。そのうちその先輩は、下の橋げたから飛び込むときは頭から飛び込めと檄を飛ばします。仕方なく勇気をもって飛び込んだところ、運悪く川底にあった大きな岩に右の前歯をしこたま打ってしまいました。歯はヒビが入り、数日は痛くて少し顔面も腫れたような記憶があります。数か月後また痛み出し歯医者さんに通いました。

当時は美空ひばりや石原裕次郎がマドロス歌謡や映画で活躍していて、私の憧れの職業は外国航路のマドロスさんでした。しかし大切な前歯を損傷したことは、父と同じ歯科医になるようにとの草葉の陰から父のメッセージではないかと歯科医師になることをその時決心しました。

その後学生時代、大学病院でも何回となく治療をやり直し、古稀を迎えた今でもこの歯は根っだけはあるものの、差し歯になり時々痛みが出てきます。そのたびに欄干橋から飛び込んだことが思いだされます。

その欄干橋も数十年前に改修され当時の欄干の面影はなくなり、何の変哲もない風景ですが、是非とも行ってもらい、橋の大嫌いな正平さん(御免なさい)にその橋の上からチョットだけ覗いてみて欲しいと思います。これまた40年ほど前に上流にダムができ水量は格段に少なく水深も浅くなっています。くれぐれもお気をつけ下さい。

追伸

昨年コロナ禍の中、趣味のゴルフや人との交流の自粛を余儀なくされ、昨年からは正平さんの頑張りに刺激を受け、クロスバイクを購入して仕事の後、夕方から1時間ほど近隣をサイクリングしています。本当に車では味わえない自然の風景、匂いや動植物の季節折々の感動に巡り合います。それともう一つ正平さんの帽子から眼鏡、そしてシューズに至るファッション毎回楽しみです。

正平さんより2歳後輩ですが、ちょっとした坂道でも視聴者が思う以上に本当にしんどいと思います。これからも健康に留意されこの番組が末永く続くことを願っています。

#### 竹井崇利君 (誕生・1957年、結婚・1984年)



4月で65歳になりました。高齢者の仲間入りです。これからどう健康で生きていくかと考えたときに、興味深い記事に出会いました。寿命と高齢者の就業率は関係があるのではないかとということです。長野県の男性の平均寿命は全国2位、女性は1位です。そして、65歳以上の就業率は28.7%です。全国1位です。全国の平均就業率は24.4%です。また、長野県は高齢者の一人当たりの医療費が、全国最低レベルという調査結果もあります。つまり、年をとっても元気な人が多いようです。宮崎県も負けていません。過去5年間の就業率のUP率では全国1位です。2012年から2017年で5.31%UPしています。

高齢者にとって大事なことは、社会との関わりを持つことではないかと思えます。仕事が全てではなく、趣味の集まり、ボランティア活動、ロータリー活動も社会参加としての一つの選択肢だと思います。

食事から老いを防ぐ手段としては、肉を食べる習慣が大事です。私もそうですが、野菜、魚中心のあっさりした食事が多いのですが、これではタンパク質が不足してしまいます。高齢になるとセロトニンという物質が減少するそうです。セロトニンが減少すると意欲が低下し、うつ病になる人も増えるようです。そこで、肉を取ることでセロトニンの生成が促進され意欲低下の抑止に働くようです。

これからは、意欲的に体を動かしたり、頭を使ったり、積極的に社会生活に関わっていきたいと思えます。今後ともお付き合い宜しくお願い致します。

#### 築瀬 敦君 (誕生・1966年)



なかなか例会が開催されず、お会いすることができませんがわたしは元気に過ごしております。

7日で56歳になりました。ここ何年かは誕生日が近づくと西暦で計算して自分の年齢を確認しています。和暦で考えると、面倒くさいです。

昔、小学生のころとかは、50歳過ぎの大人という物凄い“おっさん”って感じがしていました。しかしいざ自分がその年齢になってみるとそうでも無いんだけどなぁと思っています。皆さんもそうではないのかと思えますが、どうですか？ ですが、今の小学生たちから見たらやっぱり物凄い“おっさん”に見えるのでしょうか。実際、髪は真っ白になるし、目は見えなくなる

し、物忘れが激しくなるし、体は固くなるし、朝早く目が覚めるようになるし、「あれ」「これ」「それ」などの指示語が多くなるなど思い当たるふしはいくつもあります。先日は「あれ」「これ」「それ」で嫁と会話が成立しふたりで大笑いしました。

わが家では家族でグループラインをしているのですが、そこに息子たちから当日におめでとうメッセージがありました。うれしいことです。先日の嫁の誕生日はメッセージがなかったので嫁はふんすかしてました。私はわざとじゃないかと思っています。息子3人と私に嫁。男4：女1なのでいつも嫁は息子たちからいじられていますので。まあこれは息子たちなりの母への愛情表現とっておりますが。

誕生日ということでプレゼントは？と思いますがこの年ではもらえません(笑)。ですから自分で自分にプレゼントをあげました。ここ数年、バイクを購入し、また乗るようになりました。バイクを買ったときにヘルメット、グローブを一緒に買い、その後、夏用のライダーズジャケットを購入しました。ジャケットを買ったのがちょうどおとしの今頃でしたので、嫁に自分への誕生日プレゼントだと言ったらすんなり受け入れてくれました。(ちなみに、バイク、ヘルメット、グローブは内緒で購入しすっごく呆れられました。怒りを通り越した?)それに味をしめたわけではないのですが、去年はドラレコ付きインカム、そして今年は秋、冬、春兼用ジャケットとシートに取り付けができるバックとほしいものを手に入れることができました。年も年ですのでいつまで乗ることができるかわかりません。乗ることができるうちに楽しもうと思います。

皆さんもご自分へのプレゼント、ご褒美と称してほしいものを買われてはいかがですか？

### 豊田裕康君 (誕生・1973年)



私は昭和48年4月14日に、長崎県の五島列島福江島で生まれました。

父が海上保安官をしていて転勤のたびに引っ越しをしたこともあり、これまで、①長崎県福江市(現：五島市)→②福岡県糸島郡前原町(現：糸島市)→③山口県萩市→④沖縄県名護市(小学校1～3年)→⑤大阪市(小学校4～6年)→⑥広島市(中学3年間)→⑦横浜市(高校1年～大学2年)→⑧川崎市(大学3年～4年)→⑨岩手県盛岡市(時事通信社盛岡支局勤務)→⑩川崎市→⑪横浜市→⑫京都府舞鶴市→⑬横浜市→⑭埼玉県和光市(司法研修所)→⑮横浜市(法律事務所勤務)→⑯日南市(現事務所勤務)→⑰宮崎市→⑱日南市と住居を点々とさせてきました。日南市内での引っ越しを入れると、合計19回の引っ越しをしたこととなります。

そのため、故郷といえる場所がないことから、同じ場所で生活し幼なじみのいらっしゃる日南の皆さんが大変うらやましいと思います。

よくどこのご出身ですかと聞かれることがあるのですが、「生まれは長崎の五島です」と答えるしかないので、五島は母親の実家で度々帰ってはいたのですが故郷という感じではなく、子供のころは五右衛門風呂とポットン便所が怖くて怖くてたまりませんでした。五右衛門風呂は自分一人で板を沈めるのがなかなかうまくできず、ポットン便所は床が板で便器の中は真っ暗で底が見えず落ちるのではないかとという恐怖といろんな虫が這いずり回っていたので夜は本当に恐ろしかったです(便所の中に裸電球が一個点灯しているだけでした)。ばあちゃんが土間で薪をくべて風呂を沸かしてくれていたのですが、そこに外航船に乗っていたおじさんが船に飛んできたのを捕まえたオウム(キバタン)がいて、やたらと悪態をついていたのを覚えています。

ポットン便所でよく見かけたカマドウマや便所蜂は最近全く見かけなくなりましたが、今はボタン一つで風呂が沸きますトイレもきれいになりましたので、もうあの頃の生活に戻るは無理だろうと思います。

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：豊田裕康 副会長：入中英雄 幹事：築瀬敦 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、[ocame@wing.ocn.ne.jp](mailto:ocame@wing.ocn.ne.jp)まで送信してください。